



島Pだより

No.40
2018.3



平成29年度を振り返って

島根県PTA連合会

会長 佐々木 功

平素は県P連の活動にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

会員皆様のご協力もあり、平成29年度の活動も無事終えようとしています。

浜田で開催された島根県PTA連合会研修大会をはじめ各委員会の活動。また広島県福山市で開催された日本PTA中国ブロック研究大会広島県福山大会に、多くの皆様に参加していただき本当にありがとうございました。

今、子どもたちが抱える問題も多様化しています。家庭の在り方も核家族、共働き、一人親の家庭も多くなり学校においても先生方も仕事の多忙化と以前のように家庭と学校だけでは子どもたちを見守り育てていけない時代となっています。そんな中、私たちPTAは地域の方々も一緒に家庭・学校・地域の三者で協力協働し、子どもたちを見守り育てていこうと思っています。

また、保護者も多忙なことからPTA不要論を耳にする事があります。しかし子どもたちに安全に充実した学校生活を送ってもらうためにもまだまだPTAは非常に大切な活動だと思っています。島根県は東西に約200km。離島中山間地域もあり学校規模も大規模校から小規模校までと様々です。各学校がそれぞれ独自の学校にあったPTA活動をしていただければと思います。保護者が無理なく楽しくPTA活動をしていただくことで、子どもたちも安全に楽しく充実した学校生活を送れるのではないかと思います。

「すべては子どもたちのために」今年度同様、平成30年度もよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

事業報告

総務委員会

PTA広報紙の活性化

委員長 周藤 剛

平成29年度の総務委員会は、出雲地区が担当いたしました。

総務委員会の役割として、組織・財政・広報活動に関することとありますが、今年度はPTA広報紙の活性化についての活動を行います。毎年、日本PTA全国協議会が主催する、広報紙コンクールに、島根県PTA連合会が募集・審査を行っています。例年、県内での募集時期から日本PTA連絡協議会での表彰までが年度をまたぐ形になっているためか、応募される学校があまり多くないようです。

PTA広報紙は、昔ながらの紙媒体で、PTA活動や学校行事等の情報が掲載された、学校と家庭をつなぐツールであります。そして、その作成を通してPTAの絆を深める大切な活動であると思います。学校とPTAが協働して作成するPTA広報紙は、各単位PTAの特徴が表れます。そのPTA広報紙を、是非コンクールにたくさん応募していただきたいと思います。そこで、総務委員会は次のことを計画しています。①募集手順等を分かりやすく工夫する。(チラシ等)②全国優秀広報紙作品集を各市郡事務局へ発送する。(参考資料として)③県の審査を通過しなかった作品を総務委員会で審査・表彰をする。(昨年度同様)

今後一つでも多く作品の応募がありますよう、心より願っています。

教育問題委員会

「島根の子どもたちが遭遇する 新しい時代」

委員長 原 完次

今年度から教育問題委員会は安来・隠岐・松江地区が担当していますが、それぞれに距離がある為になかなか集まって何かを計画するといった事が難しい状態でした。今回は私が所属する松江市PTA連合会内でも研修委員を担当と言う事もあり、安来・隠岐の方に了承をいただき、松江市P連と共催という形で研修会の開催をさせていただきました。

平成30年1月6日(土)に松江市のくびきメッセを会場に、アニメ「秘密結社 鷹の爪」や吉田くんで有名なFROGMANさんを講師にお迎えし、「島根で幸いでした～島根の子ども達が遭遇する、新しい時代」についてご講演をいただきました。当日は大

きな天候の崩れもなく、多くの会員(親子連れ・教員の皆さん)にご参加いただきました。また、浜田、出雲、安来と松江市外からも約50名、総数約350名の参加をいただきありがとうございました。

公演では映画「白い船」のスタッフで島根に来られ、そして魅力を感じ島根に移住され、そこで経験された事、地域の魅力などについてお話をいただきました。その中で、これから子ども達が遭遇するAI時代によって、これからの生活や学習環境さえも変えていく可能性がもうすぐそこまで来ているということ、それに対応していく必要があることをお話いただきました。既に訪れているデジタルやAI時代に対応しつつ、島根がもつ歴史や文化のポテンシャルの高さをこれから更に活かして行く必要性を教えていただきました。

今、うすれつつある人と人、人と地域、地域と学校の繋がりを新しいかたちとして、コミュニティの再構築を考えることも私たちPTAの役目ではないかと感じました。

厚生委員会

三行詩の今後の役割と思い

委員長 佐々木慎司

今年度、厚生委員会として担当させていただきました。この度は、島根県PTA連合会研修大会浜田大会もあり、浜田地区(浜田、江津、大田、美郷)のPTAの皆様には多大なお力をお借りして活動も含め助かった厚生委員会でございました。

内容としましては、三行詩の応募作品数の周知、1次、2次審査を主にさせていただきました。

各部門の報告をしますと、小学生の部・作品数 87、中学生の部・作品数 93、保護者の部 50、総計 作品数 230。先ずもって沢山のご応募感謝申し上げます。この作品より、1次、2次審査をさせていただき、各部門ごとに5作品選出し、色々と会の中で審議したうえで全国推薦をさせていただきました。

人として、自分の家族を近く感じさせられる詩ではありましたが、残念ですが、今年度も全国表彰はございませんでした。

皆様の周知のお陰で昨年の数よりは多く寄せられましたが、やはり、三行詩についてはまだまだ偏りがあるように感じました。今後も保護者から呼びかけ子供と共に作品を作ることでよりお互いのコミュニケーションを更に深めることができる詩だと思っております。SNSは大変便利なものですが、言葉を通して感情を伝えるということも、大切な人としての繋がりと人に対する想いだと思います。

来年度に向けての課題は、昨年と同様に、今後も三行詩の取組についての啓発活動を続け、多くの学校の児童・生徒や保護者が自発的に応募してみたいと思われるように引き継いでまいりたいと思います。

最後に今年度の応募に感謝を申し上げるとともに、来年度は更に多くのご応募をいただきますよう宜しくお願いいたします。

環境対策委員会

子どもとメディアと親と生活と…

委員長 金銅 一行

本年度、環境対策委員会として、メディアについて取り上げ、島根大学人間科学部心理学コース 高橋 悟先生に「メディアに依存するところ その背景にあるもの」と題してご講話いただきました。鹿足・益田地区を中心に約100名の参加者がありました。

今日私たちはテレビ、インターネット、スマホ、SNSなどメディアに少なからず依存して生活しています。子どものメディアの使い方や選び方については、親は慎重にならなくてはならないと思う一方で、子どもは正しいか否かは別として、親よりも最新の

メディアの知識を持っていることがあります。高橋先生が、「子どもたちに伝えるとき、周囲の大人の姿勢を顧みておいて損はない」と話されました。子どもに対してやみくもにメディアを制限しても子どもへはなかなか伝わらないものです。仕事から帰宅した私たちがはじめて行うことで一番多いのは、自分の携帯をチェックすることだと聞いたことがあります。私自身も当てはまります。親の背を見て子は育っています。子どもを叱る前に、まず親の行動や意識を見直すことが大事だと感じました。私たちが子どもの頃には想像もつかなかったメディア社会です。今も進化しつづけています。否定せずメディアとの上手な付き合い方を考え続けることが必要だと思います。

これからも、子どもたちのメディア環境に役立つPTA活動を続けていきたいと思っています。

母親委員会

母親委員会活動報告

委員長 千原 恵

母親委員会では、我が子・地域の子どもたち、そして島根の子どもたちを、笑顔でいきいきと心豊かに育てるために、PTA会員同士がコミュニケーションを深め、共に育っていくことをめざし、活動をしています。

今年度は、4回の委員会と研修会を開催しました。

研修会は、12月に大田市の『あすてらす』を会場に開催しました。講演の前には、奥出雲町をこよなく愛するフォークデュオ「仁多まいず」のミニコンサートで癒され、出雲弁混じりのトー

クで笑いもあり、楽しい時間になりました。

講演では、(株)メンタリスト所属の望月康宏さんをお招きし、『メンタルトレーニングでコミュニケーションライフ』と題してご講演をいただきました。学生時代にはサッカーで汗を流され、全国優勝を経験され、大会優秀GKに選出されるなど輝かしい経歴をお持ちの素敵な先生でした。

スポーツ心理学を専門に学ばれ、現在はスポーツだけでなく、学校現場で教育、受験対策などのメンタルトレーニングを指導しておられ、子どもとの接し方など具体的に分かりやすくお話いただきました。

当日は、県内各地から200人を超える会員の皆様にご参加いただき、盛会に終わりましたことに感謝いたします。

1年間色々とお世話になりありがとうございました。

全国表彰

日本PTA全国協議会 年次表彰式に参加して

大田市立池田小学校PTA会長 藤貞 正紀

日本PTA全国協議会による表彰式が、平成29年11月17日、東京のホテルニューオータニ鶴・西の間を会場に盛大に行われました。島根県からは、優良PTA文部科学大臣表彰として大田市立池田小学校PTA、島根県立松江清心養護学校PTAが表彰。また優良PTA日本PTA会長表彰として、奥出雲町立阿井小学校PTA、大田市立第三中学校が表彰。また個人表彰として2名(雲南市立西日登小PTA、奥出雲町立横田中PTA)の方が表彰されました。

表彰式の式典会場には、日本全国から多くのPTA代表の方が晴れ舞台に参加されていました。表彰式に参加して思ったことは、全国には子どもたちを真ん中に置き、日々コツコツと努力を惜しまず活動されているPTAがあり、その取組の成果が今回の表彰に結び付いているのだと強く感じさせられました。

池田小学校は全校児童27名の小さな学校ですが、『子どもは地域で守り育てる』という信念のもと、放課後子ども教室として「教伝キッズクラブ」を平成26年4月に立ち上げました。PTA会員

平成29年度日本PTA年次表彰祝賀 第39回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式 文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会



をはじめ地域の方々のボランティアを含めたスタッフで運営し、現在に至っています。今回の表彰に満足することなく、地域の方々との強い絆で、「教伝キッズクラブ」の取組を継続させ、さらに発展させて行くための工夫を常に考え、PTA活動に取り組んでいきたいと気持ちを新たにいたしました。

本年度は、私たち池田小学PTAを含む県内4団体と2人の個人の方が表彰の栄誉を受けましたが、県内においても、各学校の実情や地域性を活かして様々なPTA活動が展開されており、活動に取り組む思いや願いは皆さん同じだと思います。県内各校のPTA活動がさらに発展することを願っております。

PTA 活動紹介

【隠岐地区】

「西郷中学校PTAの活動」

隠岐の島町立西郷中学校PTA

会長 加藤 一朗

西郷中学校は生徒数150名、PTA会員数158名の隠岐地区では生徒数・PTA会員数ともに最も大きな中学校です。本校PTAの主な活動として、PTAたよりの発行、PTA研修会の開催、夏季に行う環境整備活動などを行っています。

PTAたよりは各学期に1回発行し、各種研修会等のお知らせやメディア接触に関する保護者への啓発、学校行事を参観した保護者の感想の紹介などの情報発信をしています。今年度のPTA研修会は静岡県伊豆の国市在住の水中写真家、阿部秀樹氏を講師にお招きして、生徒達と一緒に話を聴きました。水中写真家としての仕事に対する信念や生き方についてご講演いただき、生徒にとっては進路について学ぶ貴重な機会となり、保護者にとっ

ても我が子の将来を支援していくうえで大変参考になりました。環境整備活動にはたくさんの会員にご協力をいただき、朝の早い時間



阿部秀樹氏の講演会
(撮影機材の装備も体験させてもらいました)

から除草作業を行いました。この活動によって気持ちよく2学期をスタートさせることができました。

また、隠岐の島町小・中学校PTA連合会の取組であるスマートフォン・ゲーム等に関する約束(①保護者が午後9時以降はスマートフォン等を預かる。②ゲームも午後9時までにする。③スマートフォンやゲーム機等とのよりよい付き合い方を学校や家庭で考える場を設定する)についても、学校との連携を図りながら機会をとらえて保護者に啓発しています。さらに校区の西郷小学校と協同で「チャレンジ5デイズ」と題してメディア接触時間や就寝時間について家庭で目標を決め、保護者の協力のもとでよりよい生活習慣の定着を図っています。

今後も子ども達の健やかな成長のために学校との連携を密にして、様々な活動を積極的に行っていきたいと考えています。

【安来地区】

「演劇を通して地域の再発見」

安来市立荒島小学校PTA

会長 加藤 寛通

私たちの荒島地区には、約三百年前に横田から移住して来たト蔵孫三郎という方がいました。当時荒島にあった日白池を、たたら技術を応用して埋め立て、新田を開拓した人物です。新田はその名前をとってト蔵新田と呼ばれ、2016年には日本遺産「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」の構成文化財のひとつとして認定されました。この認定に伴い、荒島地区内でト蔵孫三郎の業績について再び注目する機運が高まりました。

実は17年前、荒島地区ではト蔵孫三郎に注目し、顕彰碑の建立



と同時に当時のPTAの先輩方が孫三郎についての演劇を公演し、好評を博したことがありました。今回はその先輩方から、私たち現役世代のPTAへ「支援をするからやってみないか」という声掛けをいただき、PTA会員や子ども

たちへ出演募集をかけて練習を始めました。週1回交流センターを借りての練習では、何より子どもたちが元気に大きな声で練習に臨んでくれたことが親としてもとても嬉しかったです。また、大人同士も練習を重ねるごとに息がぴったり合ってきました。練習の仕上げでは近くの福祉施設を訪問して利用者の方に披露し、喜んでいただくことができました。このことで本番に向けて自信がついたと思います。

本番の会場は新築された安来市総合文化ホールの小ホールでした。当日は孫三郎についての講演や前回出演されたPTAの方たちの思い出トークの後に演劇の本番という構成でした。練習で自信がついたせいも、本番では皆からアドリブがバンバン飛び出しましたが、これまた上手にアドリブで対応することができ、お客様も非常に楽しんでくださったようでした。

今回の演劇の役者はPTAが中心でしたが、その後ろには荒島の地域の方々の強力な支援がありました。このような素敵な地域で子育てができることを幸せに感じます。これからも地域一体となった子育てが、世代を超えて続いていくよう頑張りたいと思います。



【出雲地区】

「創立70周年を通じて」

出雲市立第二中学校PTA

会長 小玉 友之

本年、出雲市立第二中学校では、創立70周年という大きな節目を迎えました。

私は実行委員長という大役を仰せつかり、不安と期待の中、

実行委員会組織を立ち上げ、昨年より幾多の会議を重ねて協議をし、そして10月21日(土)に本番を迎えることができました。

出雲市民会館で執り行われた記念式典では、市議会議員、教育長をはじめとする多数のご来賓、保護者、地域、学校関係者の皆さまにご臨席賜り、そして全校生徒も参加いたしました。

このたびの70周年記念式典のコンセプトは、実行委員会、教職員、生徒の皆さまの「手作り」で運営することでした。受付や司会、進行、ステージ設営もほぼ我々の手作りにて行いました。

また、70周年の記念事業として、映画監督の錦織良成氏、学校代表の校長先生、生徒代表と私でトークショーを執り行いました。このトークショーは、錦織監督の作品「白い船」の鑑賞後、しまねブランド推進課長 福間直氏のコーディネートによって、映画の場面を切り取りながら、登場人物の人情の機微や監督のお気持ちを量り、コーディネーターの質問に対して、それぞれの立場で答えるというものです。私は保護者代表・地域代表の立場として務めました。

実話を基にしたこの映



画全体を通して感じたことは、地域で子どもたちを大事に育てているということです。

学校が子どもたちの知的好奇心を大事にしたり、地域の高齢者が子どもたちに無償の愛を注ぐといった場面、これからの時代、まさしく求められているものであると思います。

出雲市立第二中学校が、創立70周年を迎えることができたのも、まさに地域の方々が、生徒たちを今まで温かく見守っていただいたからに他ありません。

「伝統を受け継ぎ、未来を作る創立70周年」この経験を通じ、私も現在の自分たちが、いかに多くの人に支えられているかという振り返り、感謝し、新に自分の役目を自覚しようという、よい機会となりました。

【浜田地区】 PTA活動について

浜田市立周布小学校PTA

副会長 稲垣 美紀

周布小学校は環境指導部・教養部・振興部があり、どの部でもとても盛んにPTA活動が行われています。

教養部が行っているPTA綱引き大会は学級役員が中心となって保護者を集め10人制(母6名・父4名)で綱を引きます。この行事はとても盛り上がり保護者同士の団結力が深まります。児童たちもお父さん、お母さんたちへの応援に熱が入り、先生方も自分のクラスを盛り上げてくださり体育館でみんなが一つ



になれる熱い行事です。

優勝したクラスの保護者チームは先生チームと戦うのですが、これもまたすごく盛り上がります。対戦の抽選からどうすればスムーズに行えるか危ない事はないか、飲み物の準備など役員の細かい気

配りもこの盛り上がり繋がっていると思います。

振興部ではPTA親子遠足に力を入れています。小学校で親子遠足はあまりないと思います!全学年を対象に出欠をとり毎年親子・先生方合わせて100人前後集まります。

そして行き先は自分たちの地域を知るという意味で周布小学校をスタートで行ける範囲にしています。近い所では3km、遠い所では大麻山7kmがあります。振興部は手作りの「しおり」や楽しいレクリエーションもしっかり準備し危険な所がないか事前

下見にも行きます。歩いている時間やレクリエーションやお弁当、自由時間などで親子間、児童同士の交流も深まり我が子と先生の自然な関わりも見れ、とても有意義で素晴らしい活動だと思います。

その他にもたくさんの素晴らしい行事があり保護者や地域の方々に協力していただいています。これからも子どもたちのためさらにパワーアップし周布小学校を盛り上げていきたいと考えています。



【益田地区】 保体部による健康集会の取り組み

鹿足郡吉賀町立柿木小学校PTA

会長 金銅 一行

柿木小学校PTA保体部の事業に「保健集会」の開催があります。子どもたちの心身の健康に関わる課題を取り上げ、地域の方等の協力を得て、毎年開催しています。かれこれ15年以上前から行っている活動で、保体部の活動の柱となっています。今年度も、事前の準備に4回の保体部会を開き、集会当日は、会場準備、司会等の運営を行いました。

今年度は、子どもたちの排便習慣について考える集会にしようと、「めざせ! 元気にモリモリ朝ウンチ」をテーマに、様々な活動を通して、保護者と子どもが一緒になって楽しみながら学習しました。内容は、以下の3つです。

- ①児童会の給食・健康委員会による劇(生活習慣アンケートの結果発表・よりよい排便習慣のために必要な生活習慣)
- ②ヤクルトさんによる「ウン知育教室」(いいウンチ・



悪いウンチとは、いいウンチを出すための3つの作戦等)

- ③地域の方の協力によるワークショップ(おなかの調子を整える食事の試食)

参加された保護者からは、「通常から便秘がちな我が子ですが、腸内環境を整える大切さがよく分かりよかったです。『うんち』は学校内ではあまりタブーではない印象を受け、いいことだと感じました。」「我が子は便秘に悩まされているので、ウンチを毎日することの大切さ、健康のバロメーターであることを教えていただき、ウンチを毎日することを親子で意識できるきっかけになりました。」等の感想がよせられました。

これからも、子どもの実態、課題にあわせた保健集会を継続して行っていききたいと思います。

第47回日本PTA中国ブロック研究大会 広島県ふくやま大会に参加して

島根県PTA連合会 副会長 原 完次

平成29年11月11日(土)第47回日本PTA中国ブロック研究大会 広島県ふくやま大会が280種類5500本の薔薇が咲くばら公園近くのローズアリーナで「咲かせよう 心の花を!」～寄りそおう子どもの心に、見直そう大人の心を～をスローガンに開催されました。

当日は県内からも多くのPTA会員の皆様にお忙しい中、ご参加いただきましたことお礼申し上げます。

記念講演ではEテレ「にほんごであそぼ」の総合指導をされている明治大学文学部教授の齋藤孝先生を講師にお迎えし「人間関係をつくるコミュニケーション力」をテーマにお話をお聞きしました。

お話の中で、30秒間で打ち解ける雑談力の技術について何気なく、さりげなく、どうでもいい話をし、お互い協調することで打ち解けるといった話や、速音読が頭の回転、認知症予防にいいなどのお話がありました。

実際に会場で雑談や速音読を体験し、あまりの速さに皆さんが戸惑っていましたが速音読を実践する良さを実感しました。

今回、前日に事務局と3名で尾道市立土堂小学校に立ち寄りさせていただきました。この学校は長年ホームページやFacebookやYouTube等のSNSを活用している学校で、授業や学校運営でも先進的な取り組みをしている学校です。また、2003年に「百ます計算」の影山英男先生が校長になった事でも有名。そこで、25年続いている土堂っ子太鼓を披露していただきました。太鼓は各地へ公演にも出かけるそうで、その際に活躍するのが保護

者の皆さんと言う事です。学校・家庭・地域の協力があって25年続いているという凄さを感じました。

また、佐々木校長先生から齋藤孝先生の速音読を取り入れていると聞き、ある教室を見せていただき、あまりの速さに何をやっている?よく聴くと「外郎売り」を速音読、また暗記している事に驚かされました。

さらに驚いたのは全国学力テストの結果が、どの教科も全国平均を10ポイント以上も上回っていることでした。このことで、速音読も学力向上の一つの可能性があるのでないかと感じ、この2日間で繋り理解も深まりとても有意義なものとなりました。



事務局だより

平成30年度事業について

1. 広報紙コンクール

- (1) 応募締切日 4月20日
- (2) 応募条件
 - ・年2回以上発行していること
 - ・2作品につき3部ずつ送付(コピー不可)

2. 県P会長表彰

- (1) 団体締切日 3月30日(金)
- (2) 個人締切日 4月20日(金)



3. 大会等の予定

- (1) 新旧会長会 6月2日(土) 午後～ ホテル白鳥
- (2) 委員総会 (市郡P連会長・学校代表・母親委員・連P事務局長) 6月3日(日) 午前～ サンラポーむらくも
- (3) 島根県PTA連合会研修大会安来大会 8月5日(日)
- (4) 日P新潟大会 8月24日(金)・25日(土)
- (5) 中国ブロックPTA研究大会岩国大会 11月10日(土)
- (6) 幼こども園・小中・高・特別支援PTA 連絡協議会研修会(浜田市:日時未定)
- (7) 県母親委員会研修会(日時未定)



平成29年度

島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA 合同研修会

平成29年11月25日(土) 13:00~16:30 松江市八雲アルバホール



研修テーマ

PTAは学校・家庭・地域の架け橋!

～学校・家庭・地域 総がかりでしまねの子どもたちを育てる～

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域総がかりで子どもを育てていくためにPTAが果たすべき役割について考える研修会が、平成29年11月25日(土)、松江市八雲アルバホールで開催されました。島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会と島根県教育委員会が合同で開催したもので、PTA役員ら約200名が参加しました。

講師には、昨年に引き続き島根県出身の錦織良成監督をお招きし、2002年公開の映画『白い船』を視聴しました。そして、映画の中に描かれるふるさとしまねの姿、そのふるさとに生きる人々の姿をもとに、錦織監督のお話やインタビューを通して、子どもの育ちを支える大人の役割や、子どもを真ん中に置いた学校・家庭・地域のつながりなどについて考えました。

教室から見える白い船と子どもたちとの交流が始まり、子どもたちは白い船への乗船を夢見るようになります。そんな子どもたちの素直な思いを大切に、あたたかく見守る保護者、地域の大人、教師たち。夢が実現し、子どもたちが乗船する白い船を大漁旗を掲げて迎える地元の漁船団。そこには、学校・家庭・地域が総がかりで子どもたちの育ちを支え、成長を見つめるあたたかい眼差しがありました。

インタビュータイムでは、インタビュアーの進行のもと、「学校・家庭・地域の連携の意義」、「都会に対しての地方の良いところ」、「子どもの叱り方」、「子どもの自尊感情の醸成」、「体験学習」などの視点からシーンを切り取り、錦織監督の『白い船』に込めた思いや教育に対する考えに触れました。

映画視聴やインタビュータイムを通して、ふるさと「しまね」には、豊かな自然はもちろん、そこに暮らす人々の地域への想いや

大切に引き継がれる日常の営みが残っていることを再確認するとともに、しまねで育つ子どもたちの親として、そして地域の大人として、やるべきことは何なのか、考える機会となりました。



●参加者の感想から…

- 子どもたちのために、親としてまだやるべきことが数多くあることを実感させられました。
- 地域、先生、保護者みんなで協力して子どもたちの成長を見守っていかねばならないと思いました。島根のよさも実感しました。
- 地域とのつながりを大切にしながらPTA活動に取り組んでいきたいと思いました。
- とてもよい研修会でした。「白い船」は何度も観ていますが、そのたびに感動があります。監督御自身から色々なお話を伺うことができ、「ふるさと」の大切さ、子どもたちの未来等を考えさせられました。もっともっとたくさんの人に聞いてほしい話でした。
- インタビュータイムで監督が話された教育や社会への考え方に深く共感しました。自分の体験と重なることも多くあり、感動するとともに、込められた思いを大切に、そして周りにも伝え広めていきたいと思いました。「白い船」は、時を経ても色あせることのない素晴らしい映画だと感じました。



島根県PTA連合会

小・中学生総合保障制度

(こども総合保険)

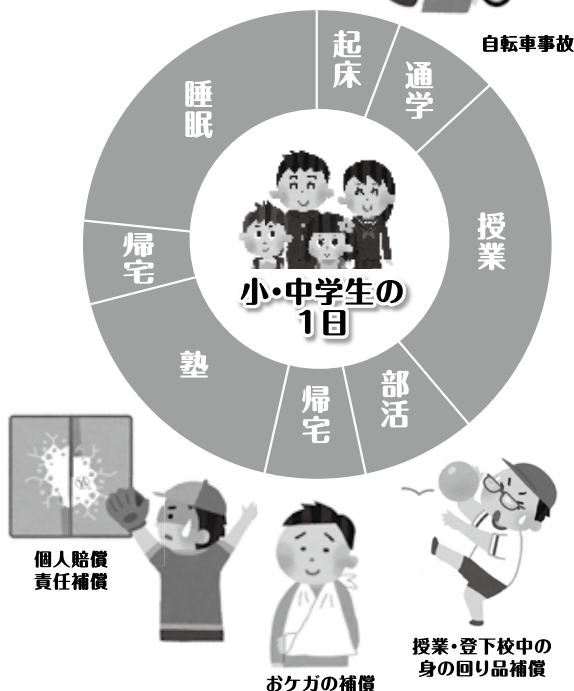
島根県の小中学生の
約**5**人に**1**人が加入

(2017年引受保険会社内データより)



2018年1月現在の内容です。

選べる4プラン (平成30年度版)



プラン年間掛金

Vプラン

17,500円

(1年分の掛金)

Rプラン

10,000円

(1年分の掛金)

Eプラン

7,000円

(1年分の掛金)

Fプラン

5,000円

(1年分の掛金)

総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか引受保険会社にお問い合わせください。

- 補償期間中、1日24時間(学校の休みの日も)補償
(ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。)
- 自転車事故による損害賠償責任も最高2億円まで補償
- お子さまがケガをした場合に補償
- 細菌性食中毒またはウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品を補償
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。)
- お子さまの病気入院・手術を補償

〔取扱代理店〕

東部地区、大田、邑智郡、隠岐郡

…有メ イ ジ (0120-001-230)

浜田、江津

…有コテラ総合保険(0855-28-2121)

益田、鹿足郡

…有ビッグ・マインド(0856-23-7353)

〔引受保険会社〕

AIG損害保険株式会社

松江支店

松江市伊勢宮町519-1大同生命ビル6F TEL.0852-26-2781
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土日・祝日年末年始を除く) FAX.0852-26-2776

S-180301 有効期限2019年2月



編集/発行 島根県PTA連合会 事務局/松江黒田町538 TEL0852-27-5803 FAX0852-26-7710
E-mail:simapren@ms1.megaegg.ne.jp http://www.shimane-pta.jp 島根県PTA連合会 検索